



新成人と

市長との

新春

座談会

1月13日(日)、平成20年新成人式が市民会館で開催され、1,063人の新成人が大人として新たに旅立ちました。

今後の大村を担っていく新成人の皆さんが、どのような価値観を持ち、大村市についてどのように考えているのか、興味深いものがあります。

そこで、成人式を終えたばかりの4人をお迎えして、松本市長と熱く語り合っていたいただきました。

その主な内容についてご紹介します。

市長 新成人おめでとうございます。今日は大村で新成人を迎えられました1,063人のうち4人の方をお迎えして座談会を開催したいと思います。いい機会ですから、日ごろ思っていることを遠慮なく語っていただきたいと思えます。

それでは、まず皆さんの今の仕事や学生生活などを交えて自己紹介をお願いします。

自己紹介をお願いします

山下 長崎大学経済学部で国際関係を専攻しています。授業では、世界の経済などを幅広く勉強しています。ヨーロッパに興味があり、特に今話題になっている環境問題などには強い関心を持っています。このことも経済につながっていると感じています。

山口 高校時代に山岳部に所属していました。琴平岳に行くとき、今勤めている会社の前を通っていたので、以前から知っていました。私はシリコンウエハーのオペレーターをしています。きつい仕事ですが、やりがいがあります。

森 現在横浜の大学で勉強しています。母がピアノ講師をしているので、小さい時からピアノがある家庭環境の中で育ち、その延長に今もいる感じです。学校では毎日がピアノの練習と勉強で大変ですが、がんばっています。

岩永 県央地域広域消防本部で働いています。昨年配属後に4月から大村で実習を受けて、9月からは消防学校で本格的に厳しい訓練を受けています。今の仕事を選んだ理由は、高校の体育祭の時に熱中症で倒れた人がたくさん出て、その時救護係をしていた影響かもしれません。人を助けるやりがいのある仕事をしてみたいという夢が膨らみました。4月から現場に配属される予定です。



市長 一生貫く仕事に、やりがいを感じることはとても大切なことです。
次に、皆さんの趣味や、今熱中していることを聞かせてください。

今、熱中していることは？

森 高校時代に写真部に入っていました。今も美しい景色や動物などの写真を撮って楽しんでます。

山下 小学校に入る前から母親と交換日記をしていましたが、20歳になった今まで毎日その日の出来事を日記に書きとめるようにしています。些細なことなどを書くのですが、後で読み返すのがとても楽しみです。

岩永 福重小学校3年生の時から郡中学校、大村高校とバレーボールを続けてきましたが、今も職場のバレーボールチームに入っています。

山口 高校1年生から山岳部に入っていた関係で、今はロッククライミングに夢中です。

市長 私も30歳前後のころ欧米へ行く機会がかなりありました。その頃は写真に興味があり、外国の子どもたちをよく撮ったものです。日記は、今「10年日記」に挑戦していて4年目に入ったところです。昨年、一昨年の出来

事などを読み返し、時の流れの速いことに驚いていますが、教行でもいいから毎日書き続けることがとても大切ですね。

ところで、今気になることや関心があることは何でしょうか。

気になることや関心があることは？

岩永 仕事のことですが、消防組織も広域化が進んでいて今後どうなるのか心配しています。

森 今横浜に住んでいます。長崎の事件がマスコミで報道されるたびに友達から「長崎は怖いね、大丈夫？」と尋ねられるのが辛いですね。

山口 水不足が深刻ですよ。僕が勤める会社も水を多く使っているの、水資源対策に関心があります。

山下 少子高齢化が進み高齢者の福祉制度が心配です。高齢者の方も所得にかなりの格差があるわけですが、弱者に優しい福祉制度を確立してほしいと思っています。

市長 いつも世界の動き、日本の動きに関心を持っていてほしいと思いますが、最近の報道では長崎のイメージダウンにつながる事件が多くて残念です。このことは観光にも影響が



出てくる訳ですから、「安心・安全のまちづくりに力を入れる必要があると思います。水事情も佐世保市を始め、大村市でも深刻な問題です。中・長期的な対策が必要と考えています。

それでは、皆さんの将来の夢や目標について聞かせてください。

将来の夢や目標は？

山下 英語が好きで、国際関係について勉強中ですが、外国人と接する仕事に就き、語学力を生かせたらと思っています。

山口 仕事は2年目になりますが、まだ知らないことが多く先輩たちに負けないように、広く深くを目標にがんばりたいと思っています。

森 今は外国に留学できたらと思っています。将来の希望としては、教職の道に進みコンサートに生徒を送り出したりして、ピアノや音楽の楽しさを伝えていけたらと思っています。

岩永 夢は救助隊員になることです。そのためには経験が必要だと思いますが、今の自分には力不足なので、技術力・体力・精神力を高めることを日々の目標にがんばりたいと思っています。





やま した ま な

山下真愛さん

(長崎大学在学中)



新成人ボランティアスタッフとして式典の進行を担当しました。



いわ なが ゆう た

岩永祐太さん

(県央地域広域消防本部 勤務)

市長 英語は今や国際語ですよ、若い時から世界に目を向け続けることはすばらしいことです。仕事においても、技術力や自分自身のスキルアップが求められています。ですから、世の中になくはない存在感のある人になってほしいですね。日ごろから目標を持ち続けることが「夢の実現」につながるのではないのでしょうか。
それではここで、ふるさと大村市の魅力、あるいは大村市の長所や短所について聞かせてください。

■大村市の魅力や長所・短所は？

山下 大村公園の桜は長崎県でも唯一「さくら名所100選」に選ばれていますよね。市外の友人を案内したことがあるのですが、その美しさにびっくりしていて、桜は大村の誇りだと思っています。また、個人的には大村人の心の温かさが好きです。都会にはない誇りだと思っています。

森 都会で暮らしていて、大村に帰ってくると、とても落ち着きます。空港の橋を渡るとき大村に帰ってきたという実感がわきます。大学

の友人を黒木溪谷や野岳湖などに案内したのですが、とても喜んでもらいました。大村の自然の美しさは誇りですね。

岩永 自然の美しさもですが、僕は夜景の美しさにも魅力を感じています。特にアルカディア大村や鈴田の仏舍利塔からの夜景は最高ですよ。**山口** 僕も自然が好きで山登りを良くしますが、山頂から眺める大村は最高ですよ。大村にはすばらしい山が多く、魅力いっぱいです。

市長 大村は「花と歴史と技術のまち」をキャッチフレーズにしていますが、花は桜に始まり花しょうぶなど花の美しさ、自然の豊かさは大村の魅力でしょうか。それと良く言われることですが、大村人は人が良くて親切ですよ、これは長所ですね。観光面でもいろいろ努力していますが、長崎は稲佐山の夜景が有名ですが、大村の夜景のPRには手を着けていないので今後参考にさせていただきます。

短所 については出ませんでした。今財政が厳しいので簡単には実現できないこともあると思いますが、こうしてほしいとか、こんな施設を作ってほしいなどの要望はありませんか。

■大村に望むことは？

森 都会はにぎやかで不景気を感じていませんが、早く景気が回復してほしいですね。

山下 長崎市では高校生などが被爆者支援活動などを積極的にやっていますが、大村はまだそこまでの活動が見受けられないみたいですね。若い世代がもっとまちづくりに関わってほしいと思います。

山口 バイクで通勤していますが、道路の悪いところがあって転倒しそうになったことがあります。道路の整備にも力を入れてほしいです。

市長 ありがとうございます。さて、皆さんが大村市長になったらどんなことをしてみたいですか。

■皆さんが市長だったら？

山口 やっぱり道路整備ですね。カーブミラーの設置や信号機の設置などに力を入れたいと思います。

森 コンサートをもっと開きたいですね。大村



もり たま お
森珠央さん

(フェリス女学院大学在学中)



新成人の主張で、「ピアノ演奏」を披露しました。



やま ぐち だ い すけ

山口大輔さん

(SUMCO TECHXIV 勤務)

にはさくらホールというすばらしいホールがありますが、もつと活用してほしいと思います。岩永 日本一安全なまちにしたいです。交通事故や銃の事件などをなくして安心して暮らせるまちをつくりたいです。

山下 大村にはたくさんさんの観光資源があるのに、まだ生かされていない気がしています。長崎や佐世保に負けない観光のまちづくりをしてみたいです。

市長 音楽は人を豊かにしてくれますね。私もクラシックが大好きです。大村には郷土が誇るOMURA室内合奏団があつて定期演奏会が開かれています。私の夢は週末だけでも、1か月間に渡って音楽祭ができないかと思っています。治安の問題も観光客を呼ぶためには大切なことです。観光面では、日本初のキリシタン大名、大村純忠が有名ですが、純忠が派遣した天正遣欧少年使節団の4少年がいます。昨夏から始まった「天正夢まつり」は来年度も引き続き開催する予定にしています。長崎県では、県下の教会群とキリスト教関連遺産を世界遺産に登録できるように取り組んでいます。大村も積極的に四少年をPRして

いきたいと思っています。最後に何でもいいですから、これだけは言っておきたいということはありませんか。

■大村をもつとよくするために

山下 長崎市で開かれている「さるく博」を長崎県規模で実施できないかと思っています。大村のエリアを含めた提案を近いうちに長崎市に提出する予定でいます。

森 さくらホールは音響がすばらしく、どこに出しても恥ずかしくないホールです。少年合唱団に入っていたのですが、今は団員が少なくなっていてとても残念です。もつと子どもたちが音楽に親しんでほしいですね。

市長 「さるく博」を長崎市内だけでやっているのは本当にもつとたいないことです。大村にも、桜・花しょうぶ、武家屋敷、国指定の円融寺、本経寺、三城城、農村レストランなどたくさんさんの観光資源があるわけですから、ぜひ「おおむらさるく博」を実現したいですね。また、さくらホールを運営している大村市振興公社でもコンサートの開催などに積極的に

取り組んで頂いています。市民に音楽のすばらしさを体感して頂くために、日本のトップクラスや世界的に有名なオーケストラを大村に呼んでコンサートを開けたらと思っています。市内では、中学校の吹奏楽部が全国的にもがんばっていて、音楽のレベルが上がってきていますから、今が行動を起こすよい機会だと思っていますね。

シーハットおおむらには、メインアリーナのような立派なスポーツ施設もあり、空港、高速道路、近い将来には九州新幹線西九州ルートの開通も実現します。また一番大切な市外からの選手をあたたかく迎える、おもてなしの心を持ちあわせていますので、全国レベルのスポーツチームの長期合宿の拠点などになるようにしていきたいと思っています。

最後になりましたが、本日皆さんからいただいた貴重な意見は今後の大村のまちづくりを生かしていきたいと思っています。どうかいつまでも自分のふるさとを思い出せる人、大事にできる人でいてください。

本日はどうもありがとうございました。



新成人の誓いの

すぎもと みき
杉本美樹さん

(県央農業協同組合 勤務)



新成人を代表して、杉本美樹さんと岩永祐太さんが、二十歳の決意と題して「新成人の誓い」を述べました。

いわなが ゆうた
岩永祐太さん

(県央地域広域消防本部 勤務)



本日、私たちは成人式という人生における大きな節目を迎え、喜びとともに、これからの未来に対する期待と不安な気持ちを胸に、この場にいます。

「7300」この数字は私たちが生まれ、二十歳になるまで過ごしてきた日々です。義務教育を終え、自分の将来を考え、ひとつの目標地点でもある成人式を迎えました。

これから先、私たちは今まで以上に長い月日を一人の大人として生きていくことになり。今までは周りの人に頼り、また、支えてもらいながら過ごしてきました。しかし、これからは大人としての自覚と自らの行動に責任を持ち、自立した人間として生きなければなりません。

今日まで多くの方々を支えられ過ぎてきました。私たちをここまで育てていただいた両親・祖父母、時にはケンカもした兄弟、たくさんの事を教えてくださった先生・諸先輩・地域の

新成人の皆さんは、二十歳を迎えるに当たってどのような決意をされましたか。私は二つのことを決意しました。

ひとつ目は、責任感のある大人になりたいと思います。責任感のある大人とは、自分と与えられた仕事をし、自分の行動に責任を持つというだけの意味ではありません。私たちには、この時代に生まれ育ったという使命があるのではないのでしょうか。

最近、私が職場でもよく耳にすることは「団塊の世代の定年退職による問題」です。私が勤務する県央消防本部でも定年退職を迎える先輩職員が多く、今後10年間で全体の4割が入れ替わります。ベテラン職員が減少し、経験のない私たちが若手職員が増えるために、組織の質の低下が懸念されています。5年後10年後には組織の中堅となることを自覚し、上司からも部下からも信頼されるような頼もし

方々、そして同じ時間を過ごした友人たち。数え切れないほどの人たちのお陰で私たちの20年間は築かれてきました。その一人ひとりへの感謝の気持ちを忘れず、これから先の人生を歩んでいきます。

二十歳といっても、まだまだ未熟な私たちです。失敗もあれば、間違うこともあると思いますが、どうか温かく見守っていただけただけで幸いです。

生まれ育った大村がますます発展することをお願い、そして、いつまでも住み良いまちであり続けるよう、形や思いはそれぞれ違いますが、このまちに貢献できる社会人としてがんばっていききたいと思います。

今日の感謝の気持ちを今後の人生に生かし、名実ともに成人となることを決意して、誓いの言葉と致します。(要約)

い存在になることが私の目標です。

ふたつ目は、夢を持ちたいと思います。その夢は仕事でも趣味でも何でも良いと思います。夢を持ち続けることで、生き甲斐のある日々が送れるのだと思います。どんなに苦しいことや嫌なことがあっても、自分の夢であるならひとつの試練として乗り越え、前に進めるような気がするのです。私は今、市民に信頼される救助隊員になりたいという夢に向かっていきます。

新成人の皆さん、今あなたが描く夢は何ですか。その夢に向かって歩いていきますか。どんな時も大人としての責任と大きな夢を持って、若者らしく、気力と体力を糧にがんばりましょう。(要約)